

Panasonic
i-PRO ネットワークカメラ対応レコーダー WJ-NX400K
V5.40 版 リリースノート

目次

[変更履歴](#)
[ダウンロードファイルについて](#)

変更履歴

Ver V5.40 (2024.2.16)

<機能追加>

- 新カメラ(PTZ)に対応
 - ・WV-S66300-Z4L, WV-S66700-Z3L, WV-X66300-Z4LS, WV-X66700-Z3LS
- 新カメラ(コンパクトドーム)に対応
 - ・WV-S32302-F2L, WV-S32302-F2L1, WV-S35302-F2L, WV-S35302-F2L1, WV-S32402-F2L, WV-S32402-F2L1, WV-S35402-F2L, WV-S35402-F2L1, WV-U31301-F2L, WV-U35301-F2L, WV-U31401-F2L, WV-U35401-F2L
- 新カメラ(ハウジング一体/ドーム)に対応
 - ・WV-X15300-V3LN, WV-X15500-V3LN, WV-X15700-V2LN, WV-X22300-V3L, WV-X22500-V3L, WV-X22700-V2L, WV-X25300-V3LN, WV-X25500-V3LN, WV-X25700-V2LN
- 雨滴除去アシスト機能を操作する「雨滴除去アシストボタン」をカメラコントロールパネル上に追加。

<改善項目>

- AI プライバシーガード録画時は、ストリーム 4(モニターライブ多画面表示)のフレームレートを 10ips に固定するよう変更。
- ブラウザ、映像監視ソフトウェア WV-ASM300 シリーズ/WV-ASM30 シリーズ、i-PRO Mobile APP からの接続が行えなくなる現象の改善。■発生条件:パケットロスが発生するような不安定なネットワーク環境下で HTTPS 接続を用いた運用を行った場合。
- MJPEG で登録したカメラの接続方法を「HTTPS」に設定すると、音声が出力されない現象の改善。
- 特定の解像度(以下※)で録画したデータを MP4 でコピー/ダウンロードを行った場合、汎用ビューワーで再生できない現象の改善。(※2192x2192, 1600x1200, 3072x2304, 3072x1728, 1728x3072, 1440x2560, 2160x3840, 1440x1440, 1200x1200, 3328x1872, 1872x3328, 2688x1520, 1520x2688)

Ver V5.30 (2023.6.30)

<機能追加>

- 新カメラに対応
 - ・WV-U11300-V2, WV-U21300-V2L
- 他社カメラとの RTSP 接続において、PLAY コマンドの応答に Session ID が無くても接続可能とした。
- レコーダー本体 LCD 表示の文字を安定的に表示させるため、リフレッシュ処理を追加した。(1 日 1 回 LCD の文字とランプが数秒間消えます)

<改善項目>

- 特定プロバイダにおいてメール送信が行えない件の改善。
- MOBOTIX 製サーマルカメラ(M16)を VGA(HVGAW)で登録すると映像が表示されない現象の改善。<発生条件:本機 V5.20 の場合>

Ver V5.20 (2023.2.28)

<機能追加>

- 新カメラに対応 (PTZ カメラ)
 - ・WV-S61501-Z1, WV-S65501-Z1
- 新カメラに対応 (マルチセンサーカメラ)
 - ・WV-S85402-V2L, WV-S85702-F3L, WV-U85402-V2L
- 新カメラに対応 (PTZ 一体型マルチセンサーカメラ)
 - ・WV-X86531-Z2
- 新カメラに対応 (PT カメラ)
 - ・WV-B51300-F3/F3W, WV-B54300-F3/F3W
- 新カメラに対応 (PTZ カメラ)
 - ・WV-S61300-ZY, WV-S61301-Z1, WV-S65300-ZY, WV-S65301-Z1/Z1-1/Z1S, WV-S65302-Z2/Z2-1, WV-S65340-Z2N1/Z4N1
- 新カメラに対応 (U シリーズ)
 - ・WV-U1130A, WV-U1132A, WV-U1142A, WV-U1532LA, WV-U1542LA, WV-U2130LA, WV-U2132LA, WV-U2140LA, WV-U2142LA, WV-U2530LA, WV-U2532LA, WV-U2540LA, WV-U2542LA
- 新カメラに対応 (i-PRO ブランドカメラ)
 - ・WJ-GXE500UX, WV-S1111UX, WV-S1130VRJUX, WV-S1136UX, WV-S1510UX, WV-S1536LTNUX, WV-S2111LUX, WV-S2130RJUX, WV-S2136LUX, WV-S2536LNUX, WV-S2536LTNUX, WV-S3130UX, WV-S3530UX, WV-S4156UX, WV-S4176UX, WV-S4556LUX, WV-S4576LUX, WV-S6532LNUX, WV-S6532LNSUX, WV-S713ZUX, WV-SUD638UX, WV-SUD638-HUX, WV-SUD638-TUX, WV-X6533LNUX, WV-X6533LNSUX
- 新カメラに対応 (アナログ出力対応モデル)
 - ・WV-S1136D, WV-S1536LDN, WV-S2136LD
- ACTi 製ビデオエンコーダー (V2221, V2224) の ONVIF 接続に対応。
- カメラのサーバー証明書変更 (PIPS (パナソニック i-PRO センシングソリューションズ) → i-PRO) に対応。

<改善項目>

- 以下の発生条件が重なった場合、誤って録画異常(RCA)を検出し、システム再起動(CPU)が発生する現象の改善。
<以下の発生条件2つが同時に発生している場合>
 - ①スケジュール(SCH)録画中の全てのカメラが接続エラーになっている場合。
 - ②イベント録画設定しているカメラが接続されていて、そのカメラにイベントが入っていない期間が 70 分以上継続(起動直後は 140 分)している場合。
- HDD を切り離れた後に、特異な HDD の故障状態(単体で起動できない等)によって、HDD 関連エラーを検出後にシステム再起動(CPU)に至る現象の改善。(シングルモードとミラーモードのみ発生)

Ver V5.10 (2022.6.28)

<機能追加>

- 新カメラに対応 (PTZ カメラ)
 - ・WV-B61300-ZY, WV-B61301-Z1/Z2, WV-B65300-ZY, WV-B65301-Z1, WV-B65302-Z2, WV-S61301-Z2, WV-S61302-Z4, WV-S65340-Z2/Z4
- 新カメラに対応 (i-PRO カメラ)
 - ・WV-B71300-F3, WV-S1135VUX, WV-S1536LUX/LBUX, WV-S2135UX, WV-S2136LBUX, WV-S3131LUX, WV-S4151UX, WV-S7130UX/WUX, WV-S8543LUX, WV-S8544LUX, WV-S8573LUX, WV-S8574LUX, WV-U1130AUX, WV-U1132AUX, WV-U1532LAUX, WV-U2130LAUX, WV-U2132LAUX

<改善項目>

- HDD 運用モードが RAID5/RAID6 で、稼働時間警告機能を使用する場合に、本体および増設ユニットのディスクスロット 1 のハードディスクに対してしか稼働時間警告を検出しない現象の改善。
- V5.00 にて改善対応を行った、スマートコーディング(GOP 制御)設定が On で、FHD を超える解像度の録画データを Web ブラウザで 4 画面再生を行った場合、しばらく静止画(数秒~60 秒程度)になる場合がある現象の改善。
<補足(2022/4/13)>本事象については継続して改善を行う予定。に対する継続改善の対応。
- 本機が V5.00、V5.01 で、2021 年 12 月後半以降にリリースされたカメラを MJPEG 録画するとき、本機の認証方式が「Digest or Basic」、カメラの認証方式が「Basic」の場合に本機が再起動する現象の改善。
(カメラと本機とのネットワークを切断するまで再起動を繰り返す)

Ver V5.01 (2022.4.13)

<改善項目>

- WJ(DG)-NV200/NV250/NV300 レコーダーへ Internet Explorer でアクセスしたことのある PC で、V5.00 の本機へアクセスを行った場合、NV200/NV250/NV300 の録画映像(H.264)を、ブラウザもしくは ND Viewer で再生した際に黒画になる現象の改善。

Ver V5.00 (2022.4.1)

<機能追加>

- 新カメラに対応 (AI ネットワークカメラ S シリーズ)
 - ・WV-S15500-V3 シリーズ, WV-S15700-V2 シリーズ, WV-S22500-V3 シリーズ, WV-S25500-V3 シリーズ, WV-S25700-V2 シリーズ
- Synectics 社製カメラを ONVIF 接続可能とした。

<改善項目>

- 社名表記を「パナソニック i-PRO センシングソリューションズ株式会社 (Panasonic i-PRO Sensing Solutions Co., Ltd.)」から「i-PRO 株式会社 (i-PRO Co., Ltd.)」に変更。
- FTP 機能を廃止。
 - ・WV-ASM300 による n3r ファイルのダウンロードが標準方式で不可になります。V1.70 で機能追加した n3r ファイルダウンロード方式を「拡張方式」にすることで可能です。●2022/5/17: 記載内容変更
 - ・WV-ASM300 V4.00 より前のバージョンでタイムライン機能が使用できなくなります。V4.00 以降へ更新することで可能になります。●2022/5/17: 追記
 - ・iCT V1.40 より前のバージョンで、ファイルのダウンロードとアップロードができなくなります。V1.40 以降へ更新することで可能になります。●2022/5/17: 追記
- WV-ASM300 に対して、カメラの機能拡張ソフトウェア試用期間満了を通知する際、対象のソフトウェア名も含めるよう改善。
- 2021 年 12 月後半以降にリリースされたカメラとの MJPEG 通信ができなくなる件に対する改善。
- スマートコーディング (GOP 制御) 設定が On で、FHD を超える解像度の録画データを Web ブラウザで 4 画面再生を行った場合、しばらく静止画 (数秒~60 秒程度) になる場合がある現象の改善。
<補足 (2022/4/13)> 本現象については継続して改善を行う予定。
- イベント種別が「機能拡張ソフトウェアアラーム」の録画データを HDD ビューワーでリスト表示すると Evt 欄が空欄で表示される現象の改善。
- ファームウェアバージョンが V4.60 で、AI プライバシーガード録画を設定した場合、ライブ用ストリーム (Stream3/4) の設定値が変わらない現象の改善。

Ver V4.60 (2021.11.24)

<機能追加>

- 新カメラに対応 (AI 全方位)
 - ・WV-S4156J, WV-S4176J, WV-S4556LJ, WV-S4576LJ
- カメラの機能拡張ソフトウェア試用期間満了通知に対応。

<改善項目>

- レコーダーとカメラ間 および レコーダーと PC 間の HTTPS 接続において、TLS 1.3 に対応。
- HDD ビューワーにて、非録音期間 (音声が無い映像のみが録画されている期間) を 1 時間以上指定してファイル書き出しを行った場合、1 つのファイルを書き出した時点で終了してしまう現象の改善。
- 外部録画入力にて、設定とは異なるスケジュールで動作する場合がある現象の改善。
 - ①録画設定にて、曜日ごとに異なるタイムテーブルで運用する設定を行っている状態で、外部録画入力された場合。
 - ②異なるスケジュールに切り換わる設定を行っている状態で、外部録画入力された場合。
<発生例>
 - ・録画 OFF→スケジュール録画 (常時録画) への更新時
 - ・イベント録画→スケジュール録画 (常時録画) への更新時 など
- 外部録画中、メール通知と独自アラーム通知が行われなかった現象の改善。
<発生条件>
外部録画のスケジュールでメールおよび独自アラームの設定を行っている場合。

Ver V4.50 (2021.8.26)

<機能追加>

- 新カメラに対応(エントリーモデル Uシリーズ)
・WV-U1113AJ, WV-U1114AJ, WV-U1133AJ, WV-U1134AJ, WV-U1533AJ, WV-U2114AJ, WV-U2134AJ
- 機能拡張ソフトウェアアラーム1~4のメッセージIDを000~255に変更可能とした。
- 繁体中国語表示に対応した。
- 新カメラに対応(AIネットワークカメラ Sシリーズ)
・WV-S1536LTNJ, WV-S2536LTNJ ●2021/11/24 追記

<改善項目>

- H.265/H.264の1ipsで録画したデータを、WebブラウザからMP4でダウンロードを行うと、ごく稀に本機が再起動し、MP4データのダウンロードが行えない場合がある現象の改善。(同一のMP4データを再度ダウンロードした場合は同一現象となる。※データを変更してダウンロードを行うと現象は発生しなくなる。)

Ver V4.40 (2021.7.7)

<機能追加>

- 新カメラに対応(i-PRO Sシリーズ)
・WV-S1115V, WV-S1116, WV-S1116D, WV-S1135V, WV-S1136J, WV-S1515L, WV-S1516LN, WV-S1516LDN, WV-S1536LNJ, WV-S2115, WV-S2116L, WV-S2116LD, WV-S2135, WV-S2136LJ, WV-S2536LNJ
※カメラは2021/9発売予定。
- 映像監視ソフトウェア WV-ASM300で、AI混雑検知アプリケーション WV-XAE207Wの検知枠が表示できるよう改善。
- カメラに搭載されているSDカードの録画異常時エラー通知へ対応。

<改善項目>

- RAID1の1DOWN時におけるWV-ASM300のログ表示内容を正しい表示内容に改善。
- Ver4.30以降にて運用開始後、間もない時期において、稀に再起動が発生する場合がある現象の改善。

Ver V4.30 (2021.3.23)

<機能追加>

- 新カメラに対応。(マルチセンサーカメラ)
・WV-S8531NJ, WV-X8571NJ
- 新カメラに対応(ドーム/ハウジング一体型カメラ)
・WV-S1552LNJ, WV-S1572LNJ, WV-S2552LNJ, WV-S2572LNJ(※カメラは2021/6発売予定)
- カメラから通知されるONVIF eventの”MotionAlarm”で開始したイベント録画において、カメラから終了通知が来ない限り、イベント録画時間で設定した時間分延長する機能を追加。

<改善項目>

- 電子証明書をDigicert社からGlobalSign社へ変更。
- RAID6 2down時、HDD 2本を同時交換する際、「老番⇒若番」の順で交換しRAID復旧開始した場合、1本目のHDDのRAID復旧中に電源OFF/ONが発生すると、2本目のHDDのRAID復旧が開始しない現象を改善。
- ONVIF接続のカメラが多数接続されていると、本体が再起動する場合がある現象の改善。
- Internet Explorerの互換表示設定にて、本機のアドレスを設定した場合、解除キー番号の登録ボタンをクリックしても、解除キー番号が登録できない現象の改善。

Ver V4.20 (2020.12.23)

<機能追加>

- ブラウザの設定画面に「ルート証明書取得」を追加し、証明書のダウンロード機能を追加。
- 録画するHDD(RAID5/RAID6モードの場合はユニット単位)の順番を任意に変更する機能を追加。

- スタートモニターに設定できる画面分割パターンに関する以下の機能を追加。
・6分割画面(全画面)と24分割画面(全画面)を追加。
- SNMPv1/v2 使用時におけるサブネット外からのアクセスを許可する設定を追加。

<改善項目>

- フェイルオーバー機能の通信を、HTTP/HTTPS に変更。
- メンテナンスポートへのブラウザ接続時における認証方式を標準的な方式に変更。(ログイン認証画面変更)
- 解像度が「4KUHD」相当で、リフレッシュ間隔が3秒以上の録画データをコマ送りすると、ライブ画像に戻る場合がある現象の改善。

Ver V4.10 (202.9.17)

<機能追加>

- 新カメラに対応。(AI ネットワークカメラ)
・WV-X1571LNJ, WV-X2571LNJ
- レコーダー-PC 間の HTTPS 通信時に TLS のバージョン 1.1 の使用可否を設定できるようにした。(バージョン 1.0 は使用不可とする。)
- ONVIF 接続のカメラで設定可能な JPEG 解像度に、HVGAW/HD/FHD を追加した。

<改善項目>

- カメラ/PC ポートと PC ポートのブラウザ接続の認証方式を標準的な方式に変更した。(ログイン認証画面の変更)
- サブモニターの電源をリモコンまたは電源スイッチで OFF にした場合、次回モニターの電源を ON にしても映像出力しない(モニター出力信号なし)状態となり、レコーダーの電源 OFF-ON にて復旧する現象の改善。
- V3.20 以前で録画したデータが残っている状態で、V4.00 以降にバージョンアップした場合、V3.20 以前で録画したデータのタイムライン色が正しく表示されない現象の改善。
- Web ブラウザーで MP4 形式の録画データをダウンロード中に、PC 側の内部処理に異常が発生した場合、ダウンロードができなくなり、その後レコーダーが再起動し、システム再起動(CPU)のログが残る場合がある現象の改善。

Ver V4.00 (202.6.25)

<機能追加>

- 新カメラに対応。
・WV-X1534LNJ, WV-X2232LJ, WV-X2533LNJ
- AI ネットワークカメラ向け機能拡張ソフトウェア(AI 動体検知アプリケーション「WV-XAE200W」)に対応。
- AI ネットワークカメラ向け機能拡張ソフトウェア(AI プライバシーガードアプリケーション「WV-XAE201W」)に対応。

<改善項目>

- 起動時のデータ読み出し異常など、設定データの耐性強化を図った。
- SNMPv3 のパスワード設定において、本機のユーザー管理のパスワードと同じルールを適用した。
- 録画期間グループを設定しているときに、一方のグループが正常録画、もう一方のグループの全カメラが接続エラーとなる状態が約1時間以上継続すると、録画異常(RCA)の警告を出して再起動する件の対応。

Ver V3.20 (2020.4.22)

<機能追加>

- 新カメラに対応。
・WV-U1113J, WV-U1114J, WV-U1133J, WV-U1134J, WV-U1533J, WV-U2114J, WV-U2134J
- アスペクト比が 16:9(9:16)の JPEG 解像度に対応。
・対象機種: WV-U1113J, WV-U1114J, WV-U1133J, WV-U1134J, WV-U1533J, WV-U2114J, WV-U2134J

<改善項目>

- NAS ドライブへの録画データのバックアップ機能(NAS バックアップ機能)が「バックアップ未(中断)」の状態に

なった場合、バックアップが中断したことをわかるようにするために、状態表示パネルに「NAS バックアップ中断」の表示を追加。

- メインモニターで全方位ネットワークカメラの魚眼画像表示中に、カメラコントロールパネルで PTZ 操作を行うと、カメラの画角が変化してしまう現象に対して改善。
- 1 ユニットあたりの HDD 台数が 6 台以上の RAID5、RAID6 運用における HDD スタンバイ制御モードでの動作中に、スタンバイ状態の HDD (ユニット) に対し WV-ASM300 から再生操作を行うと、数分間録画停止状態となる、または、その後本体が再起動に至る場合がある現象の改善。
(ブラウザや本体からの再生操作では発生しない)

Ver V3.11 (2020.2.26)

<改善項目>

- RAID 運用時、HDD が特異な故障状態(単体で起動できない等)で 1 ダウンした後に以下の現象が発生する場合があります改善。
 - ・録画異常が連続的に発生する現象。
 - ・液晶温度表示が異常温度(0°C等)に表示される現象。
 - ・1 ダウンした HDD の交換後、その HDD を認識しない現象。
 - ・再生不可・タイムライン表示が行われなくなる現象。
- RAID 運用時、応答が遅く録画動作に影響がでる状態の HDD がダウンされないことがある現象の改善。
- RAID ユニットが稀に正常動作せず、HDD SKIP(HDD 書き込み先変更)してしまう現象の改善。
- 特異な故障状態(単体で起動できない等)の HDD が挿入された状態で本機の電源を起動すると、全 HDD が切り離される場合があります改善。

Ver V3.10 (2019.12.19)

<改善項目>

- Internet Explorer 以外のブラウザに一部対応。([詳細はこちら](#))
- SNMPv3 に対応。
- 録画用のストリームに対する通信エラー検出に加え、HDMI モニターライブ表示用のストリーム2について通信エラー検出を追加。
- RAID 運用時にダウンした HDD 番号を障害ログに表示、メール本文に追加。
- サムネイルサーチについて以下に対応。
 - ・サムネイルサーチの表示間隔設定に 1 分と 10 分を追加。
 - ・サムネイル画像を選択すると開始日時(始点)欄にそのサムネイルの日時を自動反映する。
- カメラとの接続から録画を開始するまでの動作を改善。
- HTTPS&インターネットモードで運用できるカメラ台数を 4 台から 32 台に拡張。
- HTTPS&RTP で運用時に通信エラーになるカメラが多数存在する場合、通信可能なカメラもエラーと扱う場合があります、正常に通信を行えるよう改善。
- RAID 機能の信頼性を向上。(HDD とのデータ転送制御処理を改善)
- SNMP に HDD のシステムとしての最古・最新日時情報を追加。
- HDD スキップ発生時のメール通知と独自通知を追加。
- 特定のカメラについて、ONVIF(JPEG)接続時に画像がブラウザで正しく表示されない現象の改善。

Ver V3.00 (2019.6.28)

<機能追加>

- 新カメラに対応
 - ・WV-S1570LNJ/WV-S2570LNJ/WV-S6532LNJ/WV-X6533LNJ
- 本体設定メニューで以下の機能を追加
 - ・カメラの VMD エリアを設定する機能
 - ・カメラのスケジュールを設定する機能
 - ・カメラのセルフリターンを設定する機能
- システム構成により最適な運用が可能となるようカメラのストリーム 2 の使用有無を選択可能な機能を追加。
- 本体モニター全画面表示の操作パネルでスケジュール録画においてカメラ毎の録画状態がわかるように機能を追加。
- データ自動消去が Off 以外に設定されている場合、その設定日数を推定録画日数表示に併記する機能を追加。

<改善項目>

- 異常な HDD の挙動が発生した場合、他のユニットへの動作へ影響を与えぬよう耐性向上。
- RAID6 を使用中に 2 ダウン中の HDD がある場合、以下の現象について改善
 - ・電源を Off-On すると、2 ダウン中の RAID6 ユニットが切り離され、本ユニットへの録画/再生ができなくなる
構成：レコーダー本体 HDD 4 本 または 増設ユニット HDD 4 本
2 ダウンの組み合わせ： HDD1、HDD2
 - ・隣り合う 2 つの HDD がダウン中の場合、再生できない期間がある
構成：レコーダー本体 HDD 4 本 または 増設ユニット HDD 4 本
2 ダウンの組み合わせ： ・HDD1、HDD2 ・HDD2、HDD3 ・HDD3、HDD4 ・HDD4、HDD1
- グループ録画の録画期間パラメータに、31 日/62 日/92 日/123 日/153 日 を追加。
- マルチセンサーカメラ (WV-X8570N/S8530N) で非表示にした日時が再度表示されてしまう現象の改善。
- NX ビューワーで 100 件を上回る数のレコード (イベント数) が格納された n3r ファイルを再生した場合、“ファイルの読み込み処理でエラーが発生”と表示され再生できない現象の改善。
- Panasonic Security Viewer (スマートフォンアプリ) のモバイル再生で稀にデータエラーが発生する現象の改善。
- iOS 向け Panasonic Security Viewer (スマートフォンアプリ) で 2048kbps/動き優先設定時のモバイル再生について、録画データが 15ips 以下の時、高速再生になる現象の改善。
- EXTREME 全方位カメラ (WV-X4571L/X4171L/S4550L/S4150) 撮像モードがレコーダーの任意の設定変更により天井設置に戻ってしまう現象の改善。
- 設定項目「HDMI 出力を以下の信号形式に固定する」の初期選択値を 4K から 1080p に変更。
- 独自通知先の受信機器が通知を受信できない状態にある場合、受信機器の起動後、稀に WJ-NX400K が再起動する可能性がある現象の改善。

Ver V2.50 (2019.2.28)

<機能追加>

- 機器後面端子のテスト出力機能追加。

<改善項目>

- ブラウザーで独自形式 (n3r) の録画データダウンロード時に、ファイルサイズが 2GB を越えても自動で分割して、指定された期間すべての録画データをダウンロードできるように改善。
- カメラのブラウザーで直接カメラの設定を変更した場合、RTP 接続時は通信エラーが発生しないが、RTSP 接続時では通信エラーになり直後に復帰する可能性がある件について改善。
- 本体設定メニューのカメラ入れ換え画面で、表示するカメラの台数と設定によって画面表示が崩れてしまう場合がある件について改善。
- NTP の脆弱性に対する修正。
- Internet Explorer の設定で、ActiveX がインストールできない場合がある件について改善。
- メインモニターで魚眼補正表示中に、サブモニターのシームレスシーケンスでわずかに出画が遅れる場合がある件について改善。
- 『モニターに 1 画面表示する時のライブ画像をストリーム 2 で表示する』の設定を有効にしているとき、全方位カメラを多画面から魚眼補正状態の 1 画面に切り換えると、画面が切り換わるまで時間がかかる場合がある件について改善。
- 電源 Off/On 後に高速再生などの特殊再生を実施すると、魚眼補正位置が変わってしまう場合がある件について改善。

Ver V2.40 (2018.10.31)

<機能追加>

- 新カメラに対応
・WV-S3110J/WV-S3130J/WV-S3510J/WV-S3530J
- レコーダーの管理者・ユーザー登録およびカメラのパスワード設定について、パスワードの使用必須文字種を 3 種類以上に変更。
- ネットワーク送受信量測定機能を追加。
- HDD 残容量表示機能と HDD 残容量通知機能を追加。
- 緊急録音機能を追加。
- ダイナミック DNS Update 機能を追加。
- メインモニター全画面表示でカメラ画像のアスペクト比を維持して表示するための設定を追加。

<改善項目>

- コマンドアラーム No. 65~No. 128 で連動動作が行われない場合がある件について修正を行った。
- 高解像度のカメラ 2 台にて 1 画シーケンスする場合、切り換わり直後の画面がスムーズに表示されるよう改善を行った。
- 設定>録画イベント>イベント設定のブザー鳴動時間を「Rec.」に設定してイベント録画を開始した場合、録画が終了してもブザーが鳴りつづける場合がある件について修正を行った。
- ~~瞬時停電発生後に各種ログの保存が動作しない場合がある件について修正を行った。~~
- 落雷等の外的要因により、レコーダー本体がリブートに至らない瞬時電源電圧低下（瞬低）発生後に、以下の動作ができなくなる場合がある件について改善を行った。
 - ・アラーム履歴/障害履歴/表示更新
 - ・カメラアラーム受信
 - ・コマンドアラーム受信
 - ・イベント録画
 - ・PTZ 制御
 - ・映像監視ソフトウェア（WV-ASM300 など）への障害通知
 - ・GUI 操作（ライブ切替/再生/設定）
 - ・ブラウザ、映像監視ソフトウェア（WV-ASM300 など）での再生
(2019 年 5 月 30 日修正)

Ver V2.30 (2018.6.29)

<機能追加>

- 新カメラに対応
 - ・WV-S8530N/WV-X8570N
 - ・WV-S1550LNJ/WV-S2550LNJ(2018 年 7 月 3 日追記)
- カメラパーティショニング機能追加 ※ユーザーごとにカメラの表示/操作権限を割り当てられるようにする。
- 録画を停止せずに、追加した HDD をフォーマットする機能の追加。
- 録画を停止せずに、HDD を取り外す機能の追加。
- HDD の取り外し操作に HDD のパスワード確認を追加。
- ウェブブラウザのアラームメッセージ(ポップアップ)を一時的に停止する機能を追加。
- サブモニターの分割パターンに 24 分割表示を追加。
- WJ-GXE500 接続時の認証方式(Digest 認証)を選択できるように機能を追加。

<改善項目>

- HDD や増設ユニット追加時のステータス表示を「HDD 自動フォーマット中」から「HDD 認識中」に変更を行った。
- カメラがすでに登録済みの状態でカメラ検出の[新規検出]ボタンをクリックすると、登録済みの設定がクリアされる旨のダイアログを表示するように変更を行った。
- NTP の脆弱性に対する修正を行った。

Ver V2.21 (2018.5.25)

<改善項目>

- RAID 復旧は正しく終了するが、稀に RAID 復旧のログや交換 HDD のアワーメーターが表示しない場合がある件について修正を行った。
- 高スペック PC でのブラウザ接続時、ブラウザ 4 画面表示切替を行うと、ライブ映像が稀に混在表示もしくは黒画になる場合がある件について修正を行った。
- NX Viewer で N3R ファイルを再生すると稀に Viewer が終了してしまうことがある件について修正を行った。

Ver V2.20 (2018.3.27)

<機能追加>

- 新カメラに対応
 - ・WV-X4171/WV-X4571L
- カメラ接続時の認証方式を選択できるように機能追加。
- スタティックルート機能追加。

- オンラインユーザー情報表示追加。

<改善項目>

- i-PRO EXTREME カメラの暗部補正と逆光補正設定について改善を行った。
- カメラ通信エラー復帰後も、エラー発生前の魚眼補正位置を維持するように改善を行った。
- WV-ASM300 との接続で、ライブ配信についてカメラ切替え時にひとつの表示エリアに2つのカメラ映像が交互に表示される件について修正を行った。
- カメラで独自アラーム通知の「アラーム拡張情報付加」を On にすると、WV-ASM300 でアラームが検出されなくなる件について修正を行った。
- ライブ画の画面分割切り替え中に、システム再起動が発生する件について修正を行った。
- WV-ASM300 のライブシーケンスにおいて、“動画配信方式誤り”のエラーとなる件について修正を行った。(2018年4月追記)

Ver V2.12 (2018.3.22)

<改善項目>

- HDD 制御について、ノイズ耐性及び復旧処理動作に対する改善を行なった。

Ver V2.11 (2018.2.22)

<改善項目>

- WV-S4150/WV-S4550L を以下の録画設定で使用すると、カメラにビットレートが反映されず、録画期間が短くなる件について修正を行なった。
 - ・圧縮方式：H.265(1)
 - ・スマートコーディング(GOP 制御)：On(Advanced)
 - ・解像度：5M(2192x2192)
 - ・画質/フレームレート：FQ/1ips または NQ/1ips または NQ/3ips または NQ/5ips

Ver V2.10 (2017.12.28)

<機能追加>

- HDD スタンバイ制御機能 ※録画対象、次に録画を行う HDD(ユニット)をアクティブとしそれ以外の HDD(ユニット)をスタンバイとする。
- H/W RAID1 マルチボリューム機能 ※1 ユニットで最大 4 組(HDD2 台 x4 組)の RAID1 を構成できる。(最大構成:本体+増設 5 台の 6 台 x4 組=24 組)
- カメラグループ録画機能 ※2 つの録画グループにカメラ、HDD を割り当てて、録画したい期間を設定出来るようにする。
- フェイルオーバー機能 ※運用中の実機で異常が発生した場合、スレーブの実機に切り替えて録画を継続する。
- NAS バックアップ機能 ※n3r/n3a、mp4 ファイルをネットワーク上の NAS に保存する。
- コピー・ダウンロードの MP4 形式に対応
- 音声 AAC フォーマットに対応
- ネットワークマイク WV-SMR10 シリーズに対応
- 時短再生機能追加
- 縦長(コリドール)解像度用画面レイアウト追加
- IE 互換性表示に対応
- サブストリーム録画のフレームレート・ビットレート設定追加
- 新カメラに対応(WV-S4150、WV-S4550L)
- HDD ビューワー搭載

<改善項目>

- 省電力型イーサネット機能 (IEEE802.3az) ハブとの通信について、パケットロスが起きる場合がある件について修正を行なった。
- ネットワークアクセス負荷状態において録画は正常であるが、WV-ASM300 や PC ブラウザとの通信が途絶える場合がある件の修正を行なった。(2018年7月20日追記)

Ver V1.10 (2017.8.2)

<機能追加>

- 以下のカメラに対応を行なった。
・WV-S6110/WV-S6111/WV-S6130/WV-S6131/WV-S6530

<改善項目>

- プレ録画チャンネルの上限数の撤廃を行なった。 ・カメラ拡張キット無し (64ch モード) : 32ch (修正前) ⇒ 64ch (修正後)、 ・カメラ拡張キット有り (128ch モード) : 64ch (修正前) ⇒ 128ch (修正後)
- 現在の設定でプレ録画を何秒出来るか算出する画面の追加を行なった。
- RAID5/6 運用で、カメラ台数(A)、録音(B)、サブストリーム録画(C)合計チャンネルの上限数の撤廃を行なった。
(A) + (B) + (C) ≤ イコール 176 (修正前) ⇒ 制限無し (修正後)
- サブストリーム設定の ON/OFF に応じて、多画面表示時のフレームレートを切り替えるように修正を行なった。
- 4画面以上ライブかつ、データ暗号 ON のカメラに対し I フレーム (ロングターム P 含む) のみを表示するように修正を行なった。左記以外の場合、全受信フレームを表示するように修正を行なった。
- 管理者名が 4 文字以下でも FTP ダウンロードが出来るように修正を行なった。
- 以下のカメラに送信する上下反転のパラメータについて変更を行なった。
・ WV-SC387/WV-SW397/WV-X6511/WV-X6531
- WJ-PU104/WJ-PU108/WJ-PU116 との通信においてリセットが発生する可能性がある件について修正を行なった。
- NX Viewer を複数起動出来るように修正を行なった。
- 社名変更対応を行なった。
- WV-ASM300 タイムライン機能 ON にて運用中、PC のファイアーウォール有効かつ、WV-ASM300 取扱説明書記載のファイアーウォール例外設定を行っていない時、再起動する可能性がある件の改善を行なった。(2018 年 2 月 19 日追記)

Ver V1.02 (2017.4.25)

- 初版

ダウンロードファイルについて

NX400K_v***J.zip は WJ-NX400K のファームウェアです。
本ファイルは zip 形式の圧縮ファイルになっています。
ダウンロード後、ファイルをダブルクリックし解凍してください。

解凍後は以下のファイルで構成されています。

・NX400.img ・readme.txt

※バージョンアップについては取扱説明書「操作・設定編」の「ソフトウェアの更新を行なう」の項を参照願います。